



NPO 法人

茨城県防災士ネットワークだより

発行日 平成 27 年4月吉日

発行元 特定非営利活動法人

茨城県防災士ネットワーク

責任者 広報・機関紙部長

高橋 茂

編集制作・機関紙副部長 加瀬孝雄

1. 平成26年度茨城県防災啓発研修会での講演報告

このほど、茨城県防災・危機管理局 防災・危機管理課が主催する標記研修会が下記の日程・会場で行われた。

研修会では、主催者側から当NPO法人茨城県防災士ネットワークに講演の依頼があり、益子さや子防災士 柴田美智子防災士の2名を講師として派遣した。この研修会は、地域の自主防災組織のリーダーを育成することで自主防災組織の結成を促進し、地域の防災力向上を図ることを目的としている。

受講対象は、主に自主防災組織が未結成の町内会等を対象とし、次の3つの会場で行われた。

- (1) 主催:茨城県防災・危機管理局 防災・危機管理課
- (2) 共催:開催地市町村(常陸大宮市、稲敷市、下妻市)、水戸地方気象台及び一般財団法人消防科学総合センター
- (3) 日程及び会場

ア 第1回 常陸大宮会場(常陸大宮市文化センター) 平成27年1月30日(金) 13時30分～16時

イ 第2回 稲敷会場(稲敷市あずま生涯学習センター) 平成27年2月18日(水) //

ウ 第3回 下妻会場(下妻市民文化会館) 平成27年2月27日(金) //

- (4) 当ネットワーク会員による講演内容

地域で活躍する自主防災リーダーの事例紹介として、益子さや子防災士は「女子力アップで地域防災へ」、また柴田美智子防災士は「マンネリ化した自主防災組織を活性化させる試み」と題して、女性の立場から、地域の自主防災組織の今後のあり方等について提案された。なお、各会場とも参加者は約300名であった。

益子さや子
防災士



柴田美智子
防災士



2. 水戸市主催のシェイクアウト訓練へ参加

水戸市では、去る平成27年2月4日(水)昨年に引き続き第2回目のシェイクアウト訓練を実施した。この訓練の目的は、震災の風化防止、大地震の一撃から身を守る方法等、防災意識の高揚を狙うものであり、基本的行動は◎姿勢を低く ◎頭を守る ◎動かないという行動を一分間ほど続けることにある。

これに伴い、当ネットワークでは県央エリアの会員を中心に本訓練の支援を行った。訓練では、地域の自主防災組織である吉田地区連合防災会が企画した水戸市立吉田小学校(6年生 120名)における訓練の支援という形で行われ、会員が心肺蘇生法やAEDの取扱い方、担架の作り方等の指導にあたった。

参加した小学6年生男子は、「簡易担架の作り方・搬送訓練は簡単で良く理解できました。楽しかった」と語っていた。



今回の水戸市でのシェイクアウト訓練は、それぞれの家庭、職場小・中学校等で市内の約 14.3 万人超が参加し、人口比率で約 53%となり、全国第 1 位となった。

地域機関紙「ふれあい吉田第 54 号」(写真右)は、表紙一面にその様子が掲載され、また茨城新聞では2月5日、同小学校の訓練風景が掲載された。毎日新聞(左紙面)でも、3月13日、「指導する防災士の声が響いた。乗った人が落ちないように気をつけて」の書き出しで自主防災組織の現状が紹介されている。



広報紙「ふれあい吉田」

支援防災士：加瀬孝雄、渡辺 平、豊崎吉光、益子さや子、柴田美智子、(敬称略)

3. 第4回会員スキルアップ(講師)研修会の開催

平成27年2月22日(日)城里町「コミュニティーセンター城里」で標記の研修会(第1部～第3部)が開催され、会員の「災害対応」「地域活動のあり方」「DIG第3段階訓練」等のスキルアップが図られた。

(1) 第1部

DVD「日本防災士会10年の歩み」の上映並びに、会場で配布された日本防災士会ハンドブック資料の説明・・・西村 正夫防災士

(2) 第2部

自主防災組織の結成と背景、活動実績、防災組織の課題と利点、災害時における人間心理「正常性バイアス・同調性バイアス」等の説明・・・加瀬孝雄防災士

(3) 第3部 災害図上訓練DIG第三段階

災害図上訓練DIGの第一、第二段階を踏まえて、「町の現況」「災害時の状況」を把握し、「危険度の大・中・小」を判断し、救出、支援の優先順位を決める。事例では、地図を囲み、密集地で火災が発生！風向き、付近住民の年齢、健康状態を勘案し、どのような活動を行うか等、自助・共助・公助の観点から真剣な議論が行われるとともに演習にも熱が入り、多くの意見が交換されて有意義な研修であった。・・・黒田一雄防災士

＊ 研修参加者:P5:表の7(4)を参照されたい。



4. 災害ボランティア研修会の開催

平成27年3月15日(日)常陸太田市総合福祉会館において、常陸太田市社会福祉協議会主催(常陸太田市共催)の標記研修会が開催された。

本研修では、第1部は高橋 茂防災士による防災講演(「地震直後に採るべき行動」「私にも出来る我が家の地震対策」)、第2部が「避難所運営ゲームHUG」を行った。

茨城新聞には、「避難所運営法を学ぶ～市民が模擬体験～」との見出しで、本訓練の想定は、大地震が発生し、ライフライン寸断、雨風強く、気温7度等の条件で小学校の校舎や体育館に年齢、性別、国籍の異なる多様な罹災者が避難し、これらに対する迅速な対応はどうするかといった模擬体験を行った。

時間の都合ですべてのカードの遂行が無理であったので、あらかじめ社会福祉協議会のボランティア専門員により代表的なカードを選定し、これに基づいて実施した。参加者は、「いい経験をさせて頂きました。

自分の地区にきて同じようなHUG訓練をやってもらえませんか。」との依頼や「町の人は全員がやっておくべきだ」との反響



等が寄せられました。支援防災士:P3:表の6を表参照されたい。

5. 4年目を迎える東日本大震災の特集としてマスコミに協力・支援

このほど茨城放送(IBC)から当防災士ネットワークに、東日本大震災の犠牲者への追悼及び甚大な地震・津波被害を風化させず、防災意識を高めることを目的に、「地域の、ぼーさい!さん」「防災ステーション宣言」と題した放送の出演依頼があった。そこで役員の中からテーマごとに担当を決め、下記の通りのメンバーで収録に応じた。

また、この内容は朝日新聞茨城版に下記日付で掲載されたほか、茨城放送(IBC)からの依頼により短時間にそれぞれのテーマでトークがあった。

2月26日(木)

- ・防災は日頃からの心がけ ……西村正夫防災士
- ・災害図上訓練DIGを用いた地域防災 ……加瀬孝雄防災士

3月4日(水)

- ・小学校における防災探検隊 ……中村 隆防災士
- ・災害ボランティア活動 ……鈴木 勇防災士
- ・災害時の無線の役割 ……阿久津聡防災士
- ・小学校の学校防災 ……福島末輝防災士

3月9日(月)

- ・災害弱者の避難対策の必要性 ……井上亮二防災士
- ・自分にあった防災バックの備え ……横田信子防災士
- ・非常時の水の備え ……益子さや子防災士
- ・備蓄は多めを心がける ……柴田美智子防災士



6. 「DIG 研修」,「HUG 研修」並びに「避難所開設」研修会の実施報告

前号掲載以降に行われた各種研修会における指導状況は以下の通りである。(敬称略、順不同)

研修内容	実施日	対象団体名	参加会員氏名
DIG	1/12	牛久市小学校区社会福祉協議会	福島末輝、西村正夫、中村 隆、黒田一雄、宮本博海、野村 彰、横山松夫 山田 章、貝塚 勇、間宮和光、小池 實、浅野奉子
DIG	2/6	牛久市教育委員会	中村 隆、横山松夫
HUG	1/7	利根町教育委員会	西村正夫、福島末輝、中村 隆、黒田一雄、野村 彰、宮本博海、貝塚 勇 間宮和光、藤城允英、山田 章、坂 弘毅、
HUG	1/20	稲敷市立鳩崎小学校	中村 隆、黒田一雄、野村 彰、鶴長文正、山田 章
HUG	1/23	つくば市立竹園西小学校	福島末輝、宮本博海、齊藤友孝、横田信子、若林美智子
HUG	1/24	阿見町交通防災課	橋本 茂、西村正夫、中村 隆、
HUG	2/9	土浦市立真鍋小学校	福島末輝、宮本博海
HUG	2/26	城里町学校防災推進委員会	西村正夫、志村謙一、皆川 泉
HUG	3/15	常陸太田市社会福祉協議会	高橋 茂、井上亮二、小川欽也、櫛田 英、加瀬孝雄、渡辺 平、皆川雅明 鈴木 勇、柴田美智子
HUG	3/18	城里町社会福祉協議会	志村謙一、渡辺 平、小川欽也、加瀬孝雄、皆川 泉、寺門淳子

利根町教育委員会主催の防災講演会

去る1月7日、利根町図書館にて、利根町教職員54名に避難所開設と運営の防災講演会を開催しました。

主な内容として開設の原則、部屋割り、生活のルール、運営の原則と二回の演習を交え講演を行った。先生方には、今までこのような研修会は無かったとのことで、皆さんが真剣に講演と演習に取り組んでいる姿にこれまでに無い深い感動を味わうことができた。今後も、真剣に向き合わなければならないと痛感しました。

終了後のアンケート結果を見ると、今回の講演と研修については、回答者49名全員が、今後の学校防災に参考になったとの回答がありまた、先生方の感想も有意義な研修だったとのご意見を多く頂きました。（野村彰 記）



7. 講演会並びに防災教室

(1) 学校関係

前号掲載以降に行われた各種講演会等における講師は、以下の通りである。（敬称略、順不同）

講演 内容	対 象 団 体 名	参 加 会 員 氏 名
児童・生徒を中心とした防災教室	つくば市立並木中学校	齊藤友孝、若林美智子
	土浦市立第五中学校	福島末輝、宮本博海、横田信子
	茨城県立美浦特別支援学校	福島末輝、宮本博海、黒田一雄
	守谷市立郷州小学校	猪塚光彦、齊藤友孝
	結城市立結城西小学校	鈴木 勇
	守谷市立愛宕中学校	猪塚光彦、齊藤友孝
	結城市立山川小学校	鈴木 勇、安東正好
	土浦市立第二中学校	福島末輝、宮本博海
	結城市立城南小学校	鈴木 勇、高橋義一、安東正好
	土浦市立中村小学校	福島末輝、宮本博海、中島良夫
	結城市立南中学校	鈴木 勇、安東正好、高橋義一
	下妻市立東部中学校	鈴木 勇、安東正好、高橋義一
	土浦市立第三中学校	福島末輝、宮本博海、中島良夫
	土浦市立第二小学校	福島末輝、中島良夫
	稲敷市立沼里小学校	福島末輝、中島良夫
	結城市学童クラブ指導委員会	鈴木 勇、高橋義一、安東正好
教育委員会	茨城町教育委員会	加瀬孝雄、渡辺 平
防災推進委員会	五霞町学校防災推進委員会	加瀬孝雄、鈴木 勇、高橋義一、安東正好
防災訓練会議	茨城県県結城特別支援学校	高橋義一
	茨城県県美浦特別支援学校	西村正夫、福島末輝、宮本博海、黒田一雄
	茨城県立境特別支援学校	西村正夫、鈴木 勇、安東正好

(2) 自治会、自主防災組織、社会福祉協議会関係

前号掲載以降に行われた防災講演は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

内容	対 象 団 体 名	講 師 等
防災 講演	取手市井野地・川戸沼自主防災会	高橋 茂
	土浦市天川町会	福島末輝、中村 隆
	土浦市東荒川沖二丁目会	福島末輝、横田信子
	水戸市住みよい町づくり推進協議会	加瀬孝雄、渡辺 平、志村謙一
	取手市安全安心対策課	高橋 茂
	下妻市社会福祉協議会	鈴木 勇、安東正好、高橋義一

(3) 防災訓練への参加

前号掲載以降に行われた防災訓練における参加状況は、以下の通りである。(敬称略、順不同)

内 容	対象団体名	参 加 会 員
訓練指導	水戸市吉田地区防災連合会	加瀬孝雄、渡辺 平、豊崎吉光、益子さや子、柴田美智子

(4) 第4回 会員スキルアップ研修会

内 容	講 師	参 加 会 員 (28名)
スキル アップ 研修会	第1部 西村正夫	山田教嗣、今井健之、若林美智子、小野泰宏、山本美和、齊藤友孝
	第2部 加瀬孝雄	野口正弘、中島良夫、間宮和光、藤城允英、小池實、山田章
	第3部 黒田一雄	横田信子、中崎智雄、宮本博海、小室太、柴田美智子、志村謙一、皆川泉、 豊崎吉光、渡辺平、井上亮二、鈴木勇、中村隆、益子さや子、阿久津聡、 福島末輝、高橋 茂

8. NHK おしえて防災士コーナーの出演報告

昨年4月から始まった標記放送について、本年4月以降も継続放送されます。前号(第010号)以降に放映された内容と出演者は以下のとおり



1月・乾燥する冬場、
火災に注意

横山松夫防災士



2月・雪道に注意

中村 隆防災士



3月・東日本大震災から4年

西村正夫防災士

なお、昨年4月から本年3月までの上記放映に関しては、NHK水戸放送局ホームページの「おしえて防災士」コーナーにアップされているので、そちらを参照されたい。

“3.11 あの日 わたしは”

東日本大震災発災時の活動

NP0 法人日本防災士ネットワーク

当日、東京消防庁の当番勤務が終了し、帰宅途中に友人の運転する車で、つくば市内のデパートへ向かいショッピング中に震災に遭いました。デパートは、時節柄、入園・入学シーズンや春物セールで賑わっていた。その時、急にめまいのような身体のふらつきを感じたのち、ガシャガシャと音のする大きい横揺れがあり、ガラスの割れる音や物が倒れる音、子どもの泣き叫ぶ声や悲鳴等で騒然たる状況であった。私は大きな揺れの中で身体の自由が利かず、床を這うようにして近くの壁に身を寄せ、とっさに身の安全を確保しました。近くには転倒する人や恐怖で動けない人がいたので、この人たちを壁際に寄せながら、近くにいた店員にガラスケースや商品棚から離れるように、店内放送する様大声で叫んだところ、店員は、すぐに防災センターに連絡し、放送が流れました。揺れが収まった後、デパートの4階にある屋外駐車場へ戻ると、何台もの車が駐車ラインを越えて、ぶつかり合い、中には壁や柱に接触している車もありました。これを見て、昔、消防の先輩から「車庫で地震があった際は、すぐに消防車両から離れろ」と言われたことを思い出しました。他の場所では、天井から水道管やダクト配管が落ちて、数台の車に被害があり、下階よりも4階の方が揺れの強さを感じました。駐車場から出て、自宅に戻ろうとして、走行中に大きな余震に会い、車がS字走行となりコントロールが利かなくなる怖さを感じました。5時過ぎに帰宅すると、妻に緊急消防援助隊の要請があり、テレビをつけると巨大津波が町や住宅を襲っている映像が流れており、被害の大きさを知りました。急ぎ三日間分の着替えを用意し、夕食用のおにぎりを作ってもらい、バイクで勤務署に向かいしました。

大規模災害で思ったことは、我が国は、地震、津波、土砂災害等の危険区域に7割以上の人が住んでいます。過去の教訓に学び、行政にたよるだけではなく、自分の命は自分で守る、地域は地域で守るという理念のもと自主的な防災対策が必要であると思います。東日本大地震から4年、首都直下地震の発生が危惧される中、防災士一人ひとりの叡智を結集し、地域防災力の向上に取り組むことの重要性を感じております。

★ 女性会員紹介コーナー

～女性部会第2回研修会の開催～

3月22日(日)水戸市福祉ボランティア会館ミオスで女性部研修会を開催した。
今回で2回目となる研修は 総勢15名の参加となり盛況の内に終了した。

午前の部は、益子女性部長から

- ・ 女性部の集まる目的、無理のない活動、女性の視点、エリアの分け方、連絡網、情報提供、部会の愛称等について報告があった。

横田副部長から

- ・ 講演会等で失敗談より同じミスを繰り返さないためのポイント等をテーマにした説明があり、その後HUGを活用した体験型研修を行った。

午後の部は、「懐中電灯を活用した簡易ランタン」並びに「段ボールを使った簡易トイレ」の作り方について研修し、完成品はお土産として持ち帰った。



◎今後のイベント案内

(1) 平成27年度NPO法人茨城県防災士ネットワーク通常総会

ア 平成27年4月29日(水)午前9時30分～正午

イ 茨城県総合福祉会館 4F 中研修室

住所 茨城県水戸市千波町1918番地 電話029-244-4545

※平成27年度会費納入について、本年も総会席上で年会費(1,000円)を徴収します。

(2) 平成27年度北関東連絡協議会総会

ア 平成27年4月25日(土)午前11時00分～正午

イ 地方共済組合 栃木県職員会館「ニューみくら」306号室

住所 栃木県宇都宮市昭和1丁目3番6号 電話 0280-622-1093

～ ～ ～ ～ ～ 記 ～ ～ ～ ～ ～

◎市町村の防災担当課の皆様へ

NPO法人茨城県防災士ネットワークでは、防災講演会や研修会の講師、DIG(災害図上訓練)やHUG(避難所運営ゲーム)、防災マップづくりなどの指導も行っております。

講師をお探しの場合は、下記までご連絡ください。

窓 口 : 福島 末輝 (役職 副理事長(兼)企画・研修部長) TEL 029-842-1823(自宅・FAX 兼用)

連絡先 : 〒300-0842 土浦市西根南1-12-44

メールアドレス: sueki-f@jcom.home.ne.jp



会員の皆様へお願い ;

「3.11あの日 わたしは」のテーマで会員皆さんが3.11の当日、またそれ以降に行動した記録を募集しています。原稿は、400～500字程度でお願いします。

・送付先 : 〒310-0844 水戸市住吉町15-3 加瀬 孝雄 宛

・E メールアドレス: abcd25621@yahoo.co.jp

Tel(Fax 共) : 029-248-1097

編集後記

本機関紙(第011号)も任意団体であった頃の日本防災士会茨城県支部時代の「支部だより」(第1号～第9号まで及び大震災特集号まで)を含めると、計21回の発行になります。

この間、氏名、標記誤字等多くの叱咤と激励?を頂きました。また、途中より茨城県防災・危機管理課殿よりのご厚意で県内市町村防災担当者へのメール配信をしていただく等、多くの方からの支援があり計21号の発刊が叶いました。

私事で恐縮ですが、小職は今号を持って筆を下させていただくことになりました。本当に長い間、ありがとうございました。次号から新しい担当者に委ねることになりますが、今後も「茨城県防災士ネットワークだより」のご愛読をよろしくお願いいたします。
高橋